

物理学第一分野修士論文発表会プログラム

下記の通り、修士論文発表会を開催致します。

日 時 2026年1月26日(月) 9:00~17:10
2026年1月27日(火) 9:00~15:15
場 所 理学研究科5号館 5階・第四講義室(525号室)
発 表 15分(別に質問時間5分程度)

発表の順番及び題目は次の通りです。

2026年1月26日(月) 9:00~17:10

司会: 松本

1. 金融市場における価格変動の非線形応答の応答係数に関する統計理論
藤原 俊太 (9:00)
2. 傾角反強磁性体における非線形スピンダイナミクス
梅谷 洸人 (9:20)
3. 重い電子系強磁性体 CeAgSb_2 における
強磁性量子臨界点近傍の磁場方向依存性に関する研究
大口 峻平 (9:40)
4. 空間非一様に作用する対称性を持つ1次元トポロジカル相の分類
齊藤 巧磨 (10:00)
5. 核磁気共鳴を用いた奇パリティ反強磁性体における
電子状態の研究および電流誘起歪みの探索
酒井 佑輔 (10:20)

10:40~10:55 休憩

司会: 田財

6. 二次元電子系における Liouvillian 表皮効果
重富 友汰 (10:55)
7. 非従来型超伝導体における量子幾何的超流動密度の理論研究
廣部 佑真 (11:15)
8. 円筒容器内の超流動 ^3He A相・B相テクスチャの研究
上野 純弥 (11:35)
9. スピン三重項超伝導体 UTe_2 の磁化容易軸における
スピン磁化率の温度・磁場依存性の解明
松林 陸 (11:55)
10. 液晶ナノエマルションの磁場印加時におけるダイナミクス
山田 祐希 (12:15)

12 : 35 ~ 13 : 35 昼休み

司会：影山

11. 公開鍵暗号からの効率的に検証可能な一方向性パズルの構成
正木 敬梧 (13 : 35)
12. 分子時計構築に向けたテラヘルツ微分変調分光システム
田中 東樹 (13 : 55)
13. 超流動 ^4He 中における微粒子の回転運動の光駆動
荒木 大希 (14 : 15)
14. 極低温ダイヤモンドにおける真性移動度の抽出
寺本 創 (14 : 35)
15. 例外点に対する強相関効果
加藤 武蔵 (14 : 55)
-

15 : 15 ~ 15 : 30 休憩

司会：谷

16. 走査型トンネル分光測定を用いたミスフィット化合物 $(\text{PbSe})_{1.14}(\text{NbSe}_2)_2$ の研究
北野 優 (15 : 30)
17. 量子幾何による奇パリティ磁性
工藤 幹太 (15 : 50)
18. フィードバック冷却における情報熱力学的解析及び機械学習応用
小林 秀太 (16 : 10)
19. ^{173}Yb 原子アレイの1量子ビット操作の実現と
2量子ビットゲートに向けたリドベルグ分光
齊藤 啓都 (16 : 30)
20. ハニカム構造を持つ層状 5d 電子系超伝導体 La_2IOs_2
における構造相転移と非従来型超伝導
酒井 葵生 (16 : 50)
-

2026年1月27日 (火) 9 : 00 ~ 15 : 15

司会：田家

21. 非平衡相転移におけるエントロピーゆらぎ発散機構と普遍性
玉野 恭多 (9 : 00)
22. ネマチック液晶中におけるコロイド粒子のブラウン運動の
異常拡散・並進運動と回転運動の相互相関
鈴木 佳大 (9 : 20)

23. トポロジカル秩序相におけるトポロジカルな励起について
高間 俊至 (9 : 40)
24. ファイバー生成により自己駆動する酢酸菌の波打ち運動に対する力学的評価
雀部 太陽 (10 : 00)
25. Neural network quantum states study for toric code under
isotropic and antiferromagnetic Heisenberg interactions
JANG WON (10 : 20)

10 : 40 ~ 10 : 55 休憩

司会：喜田

26. ソレー効果における分子のねじれの影響
朝倉 佑都 (10 : 55)
27. 微小管集団運動の光刺激による速度方向制御
大瀬良勘太 (11 : 15)
28. 走査トンネル分光の新規解析に基づく
 $\text{Bi}_2\text{Sr}_2\text{CaCu}_2\text{O}_{8+\delta}$ のナノスケール不均一性とエネルギースケールの再評価
中里 英史 (11 : 35)
29. 超純良単結晶を用いたスピン三重項超伝導体 UTe_2 の走査トンネル分光
中西 宏介 (11 : 55)
30. アゾ混合リオトロピック液晶のミセル変形ダイナミクス
成相 和希 (12 : 15)

12 : 35 ~ 13 : 35 昼休み

司会：手塚

31. 非従来型超伝導体における電流誘起スピン・スピン流の理論研究
原 慧人 (13 : 35)
32. ツリウム原子のレーザー冷却
東 宏一郎 (13 : 55)
33. 生物対流現象における下降流揺らぎの機構解明と
境界設計による対流パターン安定化
松井 健安 (14 : 15)
34. 量子計算古典通信モデルにおける
コインフリップングと一方向性パズルの関係について
水原 朔 (14 : 35)
35. 磁性メタマテリアルにおける光駆動スピン流に関する研究
渡邊 優一 (14 : 55)